

Devotion Guide/ユースマナ Youth Manna マルコ1:35 さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。	2023/1/30(月) マルコ5:21-34 25-29vまでを2回読もう。 ●出血が止まらない病気で苦しんでいる女の人が登場する。彼女はどのくらい苦しんでいたと書いているかな？25-26v () ●この人がイエス様の衣に触れた時、どんな思いでそうしたのだろう。28v () ●イエス様は瞬時に癒してくださった。イエス様はぼくらの問題や苦しみも知っておられる。イエス様にどうして欲しいか、書くことで祈ってみよう。 ()	2023/1/31(火) マルコ5:35-43 祈ることや求めることを諦めたり、期待できなくなる時はあるだろうか？ イエス様は死にかけている会堂司の娘を癒しに向かう途中だったが、その子が亡くなってしまったことが伝えられた。人々は、お嬢さんは亡くなったので、もうイエス様にわざわざ来て頂かなくてもよいと父親に言ったが、このとき君だったらどんな思いになるだろうか？ それに対してイエス様は「恐れないで、ただ信じていなさい」と父親に言われたね。君は周りの人々の声とイエス様の声のどちらを聞いて歩むだろうか。恐れで心がいっぱいになりそうな時、イエス様のことばを思い出そう！	2023/2/1(水) マルコ6:1-13 イエスは生まれ故郷のナザレに行き、安息日に会堂で教えられた。人々はそのイエスの姿に驚き、「この人は大工ではないか」と言った。イエスが語ったり行ったりしたことに素直に驚くのではなく、この人は大工なのだから賢いはずがないと決めつけた。彼らは神の恵みを退けてしまったのである。イエスは彼らの姿を見て、「彼らの不信仰に驚かれた」。 祈り：神様、あなたの御わざを見たときに、それを信じることができますように。不信仰に陥ることがないようにお守りください。
2023/2/2(木) マルコ6:14-29 ヘロデ王は自分の兄弟の妻ヘロディアを妻とし、そのことを非難したバプテスマのヨハネは牢に繋がれていた。人の妻を妻とする、ましてや兄弟、律法にかなっていないと言い続けたヨハネが当然の気がするが、ヘロデの権威の立場から他に言うものがいなかったのだろうか.. しかし牢に入れたヘロデも、ヨハネが正しい人だと知っていて、その教えに当惑しながらも喜んで聞いていたが、結果的に非難したヘロディアに殺意を持たれ、殺されることになった。 ここどこに神様がいるのかと思うかも知れないが、神様のことば(福音)は止まることはしなかった。 イエスさまや弟子たちはとても悲しんだに違いない。それでも立ち止まることなく、福音を述べ伝えた。 どんな時も信仰を強く持とう！強く持ち続けることができるように仲間と日々分かち合おう！！	2023/2/3(金) マルコ6:30-44 ▶宣教の旅から帰った弟子たちをイエス様は休ませようとされた。しかし、多くの群衆が先回りして着いたので、イエス様は彼らに多くのことを教え始められた。この時、イエス様の心にあったのはどんな思いだろうか(34)。 ▶イエス様は弟子たちに、人々（男で5千人）に食べる物をあげなさいと命じたね。君だったらどんな反応をするかな？イエス様は、不可能に見えることに弟子たちを召し出して遣わし、彼らの手によって奇跡が行われた。イエス様は私たちが不可能を可能にするために送り出し、私たちが従うことでそれを起こされる。「あらゆる国の人々を弟子としなさい」という任務に君も召し出されている。従う心を持って出ていこう！	2023/2/4(土) マルコ6:45-56 湖の上に舟で移動している弟子たちのもとへ、イエス様は湖の上を歩いて現れた。先週彼らが舟で恐れたのは嵐だったけど、今回は幽霊と勘違いしたイエス様だったね。 そんな弟子たちにイエス様は「わたしだ。恐れることはない。」と語られた。どちらもイエス様はそばにいたけれど、彼らはイエス様が一緒にいてくれるということが分からず、目に見えるものに心を奪われてしまったのかもしれない。 私たちも状況や、今見える大変なことに心が傾いていて、イエス様がいる安心を忘れてしまうことってないかな？ 今日、今、まさにきみと一緒にイエス様はいる！目をつむってそのイエス様の愛を改めて受け取り今日を始めよう！	2023/2/5(日) マルコ7:1-23 手を洗わずに食事をしたイエスの弟子たちを、パリサイ人たちは非難した。彼らが問題にしたのは衛生上のことでなく、「昔の人たちの言い伝えを守っていない」ことだった。 イエス様はこのような態度に対し、「あなたがたは神の戒めを捨てて、人間の言い伝えを堅く守っている」と語られた。イエス様のことばに、パリサイ人だけでなく、誰もが思い当たることがあったことだろう。 私たちが守り、大切にしていることはなんだろうか。 神のことばだろうか、人のことばだろうか。 神のことば以上に大切にしているものがあるなら、それを手放すことができるように祈ろう。